

屋内運動施設

来年末完成に向け安全祈願

来年秋、関下字神座に完成予定の屋内運動施設の安全祈願祭が11月13日行われ、市や受注業者など工事関係者らがこれからの工事の安全を祈願しました。

施設は、原発事故以降、屋外での活動機会が減少した子どもたちのために、体を動かす機会を増やし、子どもたちの体力を向上させることを目的に整備します。

フットサルコートを全面人工芝で整備し、野球やソフトボールの屋内練習などにも使用でき、高齢者や障がい者も利用できる予定です。

現在施設の愛称を募集中です。詳しくは17頁を参照。



屋内運動施設完成予想図

浅草寺観光物産展

浅草寺で本宮をPR



浅草寺の境内で本宮をPRしました

11月28日・29日の2日間、本宮市・二本松市・大玉村で構成する安達地方観光物産振興協議会と福島県の主催により、東京都浅草寺にて、農産物や観光の風評払拭を目的に「福島県と安達地方の観光物産展」が開催されました。

本宮市からは、本宮産品首都圏販売促進協議会より16店舗が出店し、連携協定を結んでいる相模女子大学からは、学生の皆さんに各店舗での売り込み応援をいただきました。

また、東京もとみや会からも本宮市の食材を使ったちゃんこ鍋の出店がありました。

東京もとみや会

第1回総会を開催しました

11月22日、東京都四ツ谷において、本宮市出身者で組織する「第1回東京もとみや会総会」が開催されました。

昨年4月、旧本宮町出身者で組織する「東京あだたら会」と旧白沢村出身者で組織する「東京しらさわ会」の合併が「東京もとみや会設立式」において承認され、今回が第1回目の総会となりました。

総会には約50人の本宮市出身者が集まり、総会後は、懇親会が開催され、会員相互が交流を深めながら、ふるさと本宮を想う気持ちを確認し、会のさらなる発展を誓い合いました。



第1回の総会に集まった大勢の会員の皆さん

戦没者追悼式

戦後70年と冥福を祈る



追悼の言葉を述べる高松市長

11月25日、戦没者追悼式がサンライズもとみやで挙行されました。

戦没者追悼式は、戦争で尊い命をささげられた方、空爆などで尊い命を奪われた方を追悼するため毎年開催されています。

今年も、約100名の皆さんが亡くなられた方々を追悼するとともに、恒久平和を祈りました。高松市長からは、「戦後の発展と平和は、戦争に散った尊い命のおかげです。悲しい苦しい体験を風化させず伝えることが恒久平和のためです。」と追悼の言葉を話しました。

身体障がい者福祉大会

障がい者の社会参加促進を

10月29日、福島県身体障がい者福祉大会が、しらさわカルチャーセンターで開催され、県内各地から約600名の方々が参加されました。

大会では、障がい者福祉に功績のあった自立更生者および更生援護功労者へ、大会長より表彰状が贈られました。また、県内の加盟団体運営協力者の皆さんへ感謝状が贈られました。本宮市からは2名の方が表彰され、2名の方に感謝状が贈られています。

最後に、身体障がい者の自立と社会参加の促進と、次大会の成功を祈念し、万歳三唱で大会は終了しました。



本宮市で行われた県身体障がい者福祉大会

宍戸一郎さん

スポーツ功労賞を受賞

本宮市体育協会会長の宍戸一郎さん(岩根)が、12月1日、スポーツ功労賞を受賞されました。

長年本宮市のスポーツ振興に尽力された功績が認められました。



長年、体育協会で活動され表彰された宍戸さん(中央)

斎藤昌之さん

感謝状を贈呈

本宮市国民健康保険運営協議会委員として長年務められた斎藤昌之さん(郡山市)に本宮市から感謝状が贈呈されました。



長年活躍された斎藤さん(右)

年末年始の交通事故防止運動

年末年始の事故防止呼びかけ

12月10日から1月7日までの29日間、年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動が行われています。本宮市では、12月10日に合同出発式が行われ、事故防止の街頭キャンペーンが展開されました。



合同出発式の様子

東京もとみや会通信 その8

『ふるさとへの思い』

新年あけましておめでとうございます。私と本宮市とのご縁は、3・11の、あの東日本大震災の時からますます深まりました。以来市民の方々の想いはいかにばかりかと案じております。

昭和19年(1944年)8月15日に和田字除石の伯父宅に姉と2人、縁故疎開で預けられたのが福島との出会いでした。和田小学校、和木沢中学校へと進み、中学2年3学期の、昭和26年1月に東京へ帰るまでの6年5カ月、地域の方々、親戚の人々に見守られ、友人たちと楽しい日々を送ることができ、そのときの様子は、唱歌「ふるさと」の歌詞のとおりでした。安達太良山や阿武隈川の風景のすばらしさ、人々の親切が身にしみており、なにが自分にもできることはないかと考えている時に、東京しらさわ会の設立を迎え、お手伝いをする事になり、またこの度、2つの会の合併が決まり、その1人として微力を尽くせることを願っております。

入会およびお問い合わせは、下記「東京もとみや会」事務局へ
千葉県柏市南逆井6-3-13 野地 博 ☎04-7175-0517 E:メール hiroshi-nj@jcom.home.ne.jp



東京もとみや会 監事 渡辺 洋さん

こんにちは！市長です vol. 39



本宮市長 高松 義行

「丙申」努力が形となる年」市民の皆さん、明けましておめでとうございます。

平成28年の輝かしい新春をお健やかに迎えたいと思います。今年(丙申)は「申」年、干支でいうと「丙申(ひのえさる)」となりますが、今までの努力が形になってくる年とも言われており、市民の皆様お一人一人におかれましても、そんな年になっていただければと願っております。

さて、昨年の11月「ふくしまの元気」応援CM大賞2015の審査会が、郡山市で行われ、36市町村の作品の中から本市の作品「みんなの喜びはずむまち」が、第4位に相当する福島県市長会会長賞を受賞いたしました。本市の作品は職員の手作りによるもので、市民の歌「みずいろのまち」をBGMに子ども達がプリンス・スイリアムスパークで元気に遊ぶ様子を15秒間にまとめたものです。この作品が入賞したことにより、主催者である福島放送で本年の3月頃より1年間に30回放映されることとなっておりますので楽しみにしていただきたいと思います。

また、東京都四ツ谷に於きまして、本宮市出身者で組織する「第1回東京もとみや会総会」が開催されました。旧本宮町出身者で組織する「東京あだたら会」と旧白沢村出身者で組織する「東京しらさわ会」が合併したものです。総会後には懇親会が開催され、会員相互が交流を深めながら、ふるさと本宮を想う気持ちを確認し、会のさらなる発展を誓い合いながら楽しい一時を過ごすことができました。

さらに28日・29日の両日「福島県と安達地方の観光物産展」が、東京都台東区の浅草寺境内において開催され、本市の特産品の本宮烏骨鶏の焼き鳥、新鮮な野菜や果物、お菓子、お酒などを販売し、約11万人の国内外の方々に本宮の復興と食の安全を広くPRしてまいりました。

今年は震災から5年の月日が経過いたしました。また、市政執行10年直前の年となりますので「丙申年」にあやかり、しっかりとした方向と形を整える年としたいと考えておりますので、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が市民の皆様にとりまして、より良い年でありますことを心からお祈り申し上げます。また、寒さが一段と厳しくなりますので、体調管理に充分ご留意いただきお過ごしください。